



OB

東北電友会会報

79号

平成28年
8月発行



〈表紙写真の紹介〉

磐梯山と猪苗代湖の風景

夏を迎えた「会津磐梯山」と
安積平野の命の水がめ「猪苗代湖」

写真提供／福島地区電友会 犬飼 隆
(撮影者コメントはP84へ)

I

INDEX

NTT東日本より	1
賛助会員企業様コーナー	8
東北地方本部だより	11
各地区電友会だより	13
会員リレーコーナー	70
会友コーナー 文芸・随想	73
でんでんみちのく川柳コーナー ..	82
編集後記	84

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 福島支店長

山内 功



東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

NTT東日本グループは、ビジネスユーザ市場における取り組みの強化、光コラボレーションモデルの推進、生産性の向上等を柱に、回線からサービスへ収益構造の転換やICTコンシエルジュによる新たな営業手法の展開など、事業運営の大胆な変革にチャレンジしているところですが、おかげさまで平成27年度は過去最高益を更新することとなり、宮城事業部としても念願の黒字化を達成することができました。

また、東日本大震災からの復興については、震災から5年が経過して「集中復興期間」が終了し、新たに5年間の「復興・創生期間」が始まりましたが、復興は未だ道半ばと言わざるを得ない状況であり、更に福島県は、原発事故の影響によって、被災した他県と比べ復興の動きが遅れています。

原発事故に伴う避難エリアにおいては、昨年9月に楢葉町の避難指示が解除され、平成28年度も複数の自治体において避難指示の解除が計画されており、中間貯蔵施設の建設や除去土壌等の搬入なども本格化していくこととなります。

こうした中で、NTT東日本グループは、これらの計画に対応したタイムリーな通信設備の点検・整備や、帰還する住民の方々の生活基盤となる医療施設や商業施設への迅速なサービスの提供など、復興の加速に向けてしっかりと貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。

このほか、国は今年を「東北観光復興元年」と位置付け、全国的に外国人観光客が急増している中でその効果を享受できていない東北の観光復興を推進するために、交付金の創設やプロモーションの強化などを計画しています。

NTT東日本グループは、地域に根ざした情報通信事業者として、観光地や街なかへのWi-Fiの整備や自治体・企業の情報発信のサポート等の取り組みを積極的に行っていく考えです。

福島県は、特に原発事故に伴い厳しい風評被害を受けており、外国人観光客のみならず、国内観光客や教育旅行などにも甚大な影響が生じています。東北電友会の皆様には、是非とも福島県に足を運んでいただき、美しい自然や美味しい食べものなど福島県の魅力を楽しみながら福島県をご支援いただきますようよろしくお願い致します。

NTT東日本グループは、平成28年度の事業運営方針の1つとして、現在チャレンジしている事業運営の変革を一層加速させることを掲げています。宮城事業部としても「チーム東北全員の力で“東北を前へ”」というスローガンの下、全社員が一丸となって全力で取り組んでまいりますので、東北電友会の皆様には、NTT東日本グループに対するこれまでと変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の今後益々のご発展、並びに会員の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



福島支部長

齊藤 政夫

東日本大震災及び福島第一原発事故から丸5年を経過しましたが、この5年間で「もう5年」、「まだ5年」と人それぞれ被災を受けた度合いによって感じ方に大きな違いが出てくるのであらうと思っております。

過日、福島の地方紙が福島県民から復興の進み具合についてアンケート調査を実施した記事が掲載されておりましたが、それによると約7割の県民が進捗は50%以下で、更に国の対応が不十分と答えている内容でした。

そこで福島原発事故関連の復興状況についての一部を紹介しますと

①福島第一原発建屋の水素爆発及び核燃料が「メルトダウン」を起こした原子炉の廃炉作業は、毎日7000人余りの体制で実施しておりますが、日々200tを超える放射性汚染水の処理が困難な状況にあると共に、格納容器の底に溶け落ちた核燃料から発生する超高い放射線により、作業員が建屋内に入る事すら出来ず、原子炉内の状況確認も出来なため、30～40年を要すると云われている原

子炉の廃炉完了時期は、先が見えない状況にあります。

②放射能の除染作業は、放射線量の高い帰還困難地域を除いて、居住地、道路、及び農耕地等は今年度に概ね完了の見通しですが、今後は里山、森林の除染が課題となります。

③除染作業で発生した放射性汚染物を搬入するための中間貯蔵施設用地は決定したが、2400人弱の地権者との交渉が難航していることから、契約率は5%程度のため、汚染物の搬入が出来ない状況にあります。

④このことから、集められた除染廃棄物は県内各市町村の9000箇所余りの仮置き場に一時保管されていると共に、仮置き場が確保出来ない地域の汚染物は、11万件を越す各家庭の庭の地中等に仮々保管されている状況にあります。

以上、原発事故後5年を経過した復興の現状から考察すると、冒頭で述べました県民からのアンケート調査の回答内容については、理解出来る様な気がしております。

さて、次に福島電友会の話題に移りますと福島支部は7地区（福島、郡山、会津、いわき、白河、相馬、原町）と1部会（福島地区の女性だけの電友吾妻会）の総勢830名の会員で構成されております。

電友会活動の原点となります24のサークルに約50%の会員が参画し、平均月1回程度のペースで活動しており、ある程度活性化が図られているのではと思っております。

今年度の活動計画の重点取り組みの一部を紹介致しますと

①組織の活性化には欠かせない新規会員拡大の取り組みとして次の施策を展開します。

- ・支部版会員入会案内パンフレット作製。
- ・会員拡大プロジェクトチーム立ち上げ。
- ・体験入会（1年間会費無料）制度導入。
- ・正規入会者へのクオカード贈呈。

②ボランティア活動、地域社会貢献活動に参画している会員の掘り起こし。

・会員の中で、長年ボランティア活動及び町内会の役員等となり活躍されている方が数多くおりますことから、聞き取り調査等により現状把握を行い、活動活性化の施策に結び付けていければと思っております。

以上、今年も全会員参画型の活動を目指して取り組んでまいりますので、地方本部、各県支部のご指導方宜しくお願い致します。



NTTから退職者の皆様へ

退職者(二〇年以上の勤続者)に対する

長寿お祝金の取扱いについて

NTTから次のとおり、お贈りしています。

- 喜寿のお祝い(七七才)三万円
- 米寿のお祝い(八八才)五万円
- 白寿のお祝い(九九才)十万円

注)年令は満年令で、NTTが把握し贈呈しております。
不明の点があれば、照会ください。

退職者(二〇年以上の勤続者)に対する
弔慰金の取扱いについて

NTTから次のとおり、香典をお贈りしています。

- ①本人 …… 三万円
- ②配偶者 …… 一万円

—NTT各支店総務担当電話番号—

宮城支店	(022)269-2020
福島支店	(024)531-7481
岩手支店	(019)625-4411
青森支店	(017)774-9229
山形支店	(023)621-9515
秋田支店	(018)836-8923

長寿お祝い金および弔慰金に関するお問い合わせなどは、左記の機関が窓口となっておりますので、遠慮なくご連絡ください。



◎5年前の3・11

五ツ橋クラブ 濱松 修作

当時、私は、N T Tの宮城県内の電報配達所の指導を行う仕事をしておりまして、当日は牡鹿半島にあります網地島配達所と谷川浜にある鮎川配達所を訪問しておりました。

午前中は網地島配達所に行き、午後は連絡船で鮎川港へ戻り、谷川浜にある鮎川配達所に到着したのが午後2時40分でした。そこで配達所のご夫婦と仕事の話をしている時に、いきなりあの大地震が来ました。慌てて、外に逃げて庭の立ち木に捕まって長い揺れが収まるのを待ちました。

そのうち、地震がおさまりましたので、配達所の倒れた家財道具などを整理して時計を見ましたら、丁度午後3時でしたので車で会社に戻ろうと思いい、地震の状況を確認するた

め車のラジオを聴きましたら、あと10分で鮎川に6、7メートルの大津波が到着しますというアナウンスがありました。

車で逃げて10分では途中で津波に巻き込まれるかも知れないと考え、配達所のご主人に、避難する場所がありますかと聞いたところ、家の後ろに山があつて、途中に高台があるので、そこに避難すれば大丈夫だろうといわれ、配達所のご夫婦や近所の人たち7、8名と一緒に乗ってきた車を置いて、急いで高台まで避難しました。

高台は海から5、600メートル程離れており、平地から20メートル程の高さがあり、そこから岸壁がみえました。

そうしているうちに、白い波が岸壁を越えてくるのがみえました。

これが津波の第1波でしたが、それ程大きな津波でなかったもので、一緒に避難した男性の1人が安全だと思いい自分の家に行くといっ

て、戻って行きました。

皆で危険だから行くなと叫びましたが、結果として戻ってくることはありませんでした。第1波から3、4分後、第2波がきました。それは皆さんもテレビの放送で見たあの真つ黒い大きな津波で、岸壁に衝突した時の波の高さが10メートル以上の高さに見えました。その後、真つ黒い波が次々と岸壁を乗り越えてきました。

それを見た時、体が震え、ここも危ないと思いい、皆で、山の上へ逃げようと必死で山へ駆け上がりました。

どうにか津波から逃れ、山の上に逃げてきた人達が次第に集まり、40名ほどおりましたが、半数以上は70歳以上の方たちで皆、着の身着のままの状態でした。

日が暮れてきて寒くなってきたため、焚き火をすることにしました。

幸い配達所のご主人がタバコを吸う方でライターを持っておりましたので、皆で枯れ木を集めてきて焚き火を始めました。

次第に寒さも厳しくなり、その上、雪も降ってきましたので困ったなあと思っていました。津波から逃げる時に何故かわかりませんがコウモリ傘を4、5本持って逃げてきた人がおりまして、それが本当に役に立ちました。

夜中も次から次へと大きな余震が続き、ラジオもないため情報がわからず不安で落ち着きませんでした。皆でいろんな話をし眠らないように励ましあつて夜を明かしました。

翌朝7時ごろ、ヘリコプターの音が聞えてきて自衛隊のヘリが搜索しているのが分かりましたので、2、3名の女性が空き地へ行つてコウモリ傘を振り回しました。

それに気づいて、ヘリが下の空き地に降りて自衛隊員が4名ほどやってきて、怪我人がいないか確認し高齢者7、8名をヘリに乗せ、また戻つて来ますからと言つて飛び立ちました。

ヘリが飛び立つ前に操縦士の方に、自分の家族が若林区の今泉にいますので状況を聞いたところ、今泉も大変な被害が出ているといわれ、家族のことが心配でしたがどうすることもできませんでした。

次にヘリが迎えに来た時のために、ヘリが着陸した場所に全員降りてヘリを待つことにしましたが、その途中に高台から見た光景は家は1軒もなくガレキだけの光景に全員が声もなく、まるで夢を見ているようでした。

私の車も津波に流されてなくなっていました。後で配達所のご主人から津波が28メートル

の高さ迄来たことを知らされました。

午前中ヘリを待つていましたが、いくら待つても戻つてくる様子がなく、午後になつて地域の人が見回りにきて、このままここにいてもヘリが来ないかもしれないので、4、5キロ先の泊浜にコミュニティセンターがあるのでとりあえずそこに避難したらどうですかと言つてくれましたので、みんなで一旦そこに避難することにし、トラックの荷台に乗せられて行きました。

そこには100名ほどの人が避難してきており、そこで、東日本が大きな被害に遭つたことを初めて知りました。

センターでは、おにぎり1個とお茶を1杯支給され、昨日から何も食べていないことに気づきその日はセンターに泊まることになりました。

翌朝コミュニティセンターが孤立状態で支援助物資もすぐには来ないということがわかり石巻へ買出しに行くことになり軽トラックの荷台に乗せてもらいコバルトラインを通つて2時間程かかつて石巻まで送つていただきましたが、途中、山の上から見た女川の町も大変な被害を受けていました。

石巻へ行けば石巻配達所の車を借りて仙台へ帰れるだろうと簡単に考えていましたが、

石巻も大変な被害を受けており配達所のある中心部は1階部分は水没しており、電気、電話、交通機関も全く使えない状況にありましたので会社や自宅にも連絡ができず、これでは仙台まで歩いて帰るしかないなど覚悟を決めました。

コミュニティセンターを出る時、配達所のご主人から、自分の兄が石巻の蛇田にいますのでそこへ行つて車を借りて仙台まで帰つたらと言われ、住所を教えてもらつていましたので仙台に帰る前に弟さん夫婦の無事を知らせようと思い、なんとか住所を探して午後1時ごろ尋ねて行きました。

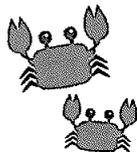
お兄さんの家は被害がなく、弟さん夫婦が無事であることを伝えたところ、わざわざ知らせて来てくれてありがとうと喜んでいただき、昼時でしたのでカップラーメンをご馳走になりました。そこでお兄さんから、仙台まで送つてあげたいが自分の車にガソリンがないため送つて行くのは難しいなと言つていたところへお兄さんのお姉さんという方がたまま車で訪ねてきて、お姉さんに私が訪ねてきた理由を話し、仙台まで送つて行きたいがガソリンがないんだと話したところ、お姉さんが自分の車はガソリンが満タンにあるのでこの車で送つてあげたらと言っていた

きまして、お兄さんに送られて夕方、無事に自宅へ帰ってこることができました。

家の500メートルの近くまで津波が来ましたが幸い家も家族も無事で、3日間も連絡が取れず家族も半ばあきらめていたところへ私がいきなり帰ってきたことに驚いていました。お互いが無事であることがわかり安心しました。

自分の家の周りがこれまでとなんの変りもない状況を見て別世界から帰ってきたような夢を見ているような気持ちでした。

東日本大震災から5年たちましたが、3・11を迎えるたびに当時の体験が今でも鮮明によみがえってきます。



◎希望の郷「絆」訪問

遠野地区電友会

あの日から5年も過ぎました。失われた人の命、助け合い励まし合いながら生きることの尊さを毎日忘れることのない仮設住宅暮らしの方々の思い……。私達は何が出来るのでしょうか。ずっと継続していこう心の支援が当会の活動目的でした。被災地への買い物

ア、お話し相手、昔話等々。今年は遠野で行いました。2月10日最も寒い時季、遠野にも

希望の郷「絆」というサポートセンターがあります。寒いと家の中に閉じこもっていると運動不足になり気分も何となく落ち込んでしまうので体を動かさし、口を動かさしと皆さんで踊りを踊ったり歌を歌ったり手遊びをしたりして童心に返ったように笑顔になっておりました。私達も笑顔に



元気良く365歩のマーチを踊ってます



2016/02/10

仮設の人達もニコリ集合写真

なり短い時間ではありましたが楽しいひとときでした。これからも何らかの形で継続していきたいと思っております。

◎震災後の状況報告

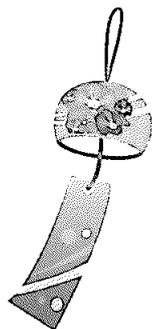
電電原町退職者の会 半谷 敬一

震災時は、全国の皆さんの善意をいただき大変ありがとうございました。

私は津波で半壊の被害を受け、しかも原発事故で避難を強いられ、今も避難生活をしています。

事故当初は先が見通せず、途方に暮れた生活をしていたのですが、5年が経過して復興も目に見えて進み、放射能の除染も徐々に進んでいます。

避難の解除も今年中にはありそうです。そうなれば補修工事をして自宅に戻る予定です。自宅に戻り家庭菜園などをして、残された人生を楽しんでいきたいと考えています。



お知らせ



◎熊本地震への支援について

東北地方本部事務局

28年4月に発生した熊本地震は人命や建物に甚大な被害をもたらし、更には大きな余震が未だ続いており、被災し避難されている方々のご心労を思う時、東日本大震災を経験した東北の人間には他人事ではありませんが、地震報道等に接する度に心の痛む毎日であり、1日も早い収束と安寧の日々に戻ることを心からお祈り申し上げます。

今回の地震で被災された電友会会員の方々へのお見舞いについては、東日本大震災の際に、全国の仲間から温かいお見舞いと多大なご支援をいただいたことを思い起こし、東北地方本部としても電友会本部の方針も踏まえ出来るだけの支援をしていくこととし28年度評議員会でも決議致しました。

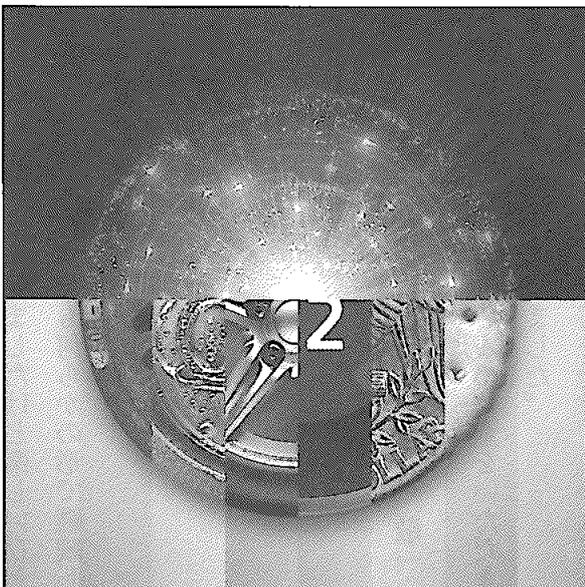
これに基づき、地方本部主体として150万円を目標に義援金を募っております。これは電友会本部を通じ熊本・大分などの被災された会員の方々への支援に使わせていた

だきます。

各地域、支部等では既に義援金を取りまとめ地方本部に送金されたところもあり、熱心に活動を展開していただいていることに感謝申し上げます。義援金の取り敢えずの集約は28年7月末としておりますが、各種会合等の折にはお声掛けいただき広く会員の善意が集まりますようよろしくお願い致します。



熊本地震への募金ありがとうございます！
(五ツ橋クラブ総会時の1コマ)



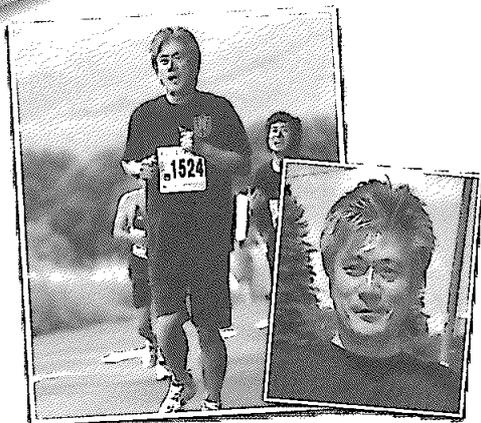
ntt.com

NTT Communications
Transform. Transcend.

**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は大和電設工業(株)様、共立建設(株)東北支店様、日本メックス(株)東北支店様です。



大和電設工業(株)
ユビキタスICT事業部
小笠原 正夫

余暇は趣味のマラソンを楽しんでいます!

大和電設工業(株)の小笠原です。当社は1949年の創立以来、情報通信インフラ構築を主力事業に、お客様の立場に立った発想と、多様なニーズに対応する技術力を大切にして事業を進めてきました。2011年には(株)協和エクシオの完全子会社となり、持続的成長に向けて経営基盤を強化し、主力事業の他、電気・土木インフラ工事、ICTソリューション、栄養給食管理システム「ニュートリメイト」のソフトウエア開発など、事業領域の拡充にも力を入れています。

私は、震災の年、2011年7月に入社して早5年。ICTソリューション、電気・土木の民需事業の分野に従事しています。

さて、私の余暇の楽しみとして、7年前から始めたマラソン大会出場の話を見せてもらおうかと思っています。

7年前、飲み仲間から「巨理のマラソン大会5キロの部に出ないか?」と誘われ「5キロくらいなら、やってみるか」と、酔った勢いで大会に応募したのが走り始めるきっかけでした。練習してみると1キロも走れない現実に啞然としましたが、少しずつ練習を続け、本番で何とか完走できて達成感を味わったことで、すっかり調子づいてしまいました。

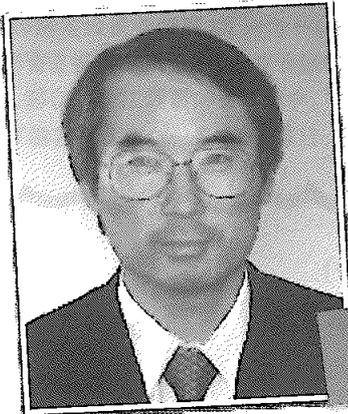
その後は、岩沼、白石、角田、気仙沼、登米、松島、仙台等、宮城県内のあちこちのレースに参

加し、距離も5キロから10キロに延び、3年ほど前には、ハーフマラソンに参加するまでになりました。

よく走る気になるねと言われます。若い頃はレースとなると自分の限界ギリギリで順位を争う競争でしたが、順位は度返し、マイペースで完走できれば良いと開き直ると、走ることは、楽しくて爽快なレクリエーションになることに気が付きました。それでもハーフマラソンの約21キロともなると、いくらゆつくりのペースでも10キロを過ぎた頃から筋肉痛で足が思うように上がらなくなり、走りをやめたくなる弱気な自分との闘いとなります。レース出場を知る家族や友人を思い浮かべ、沿道からの暖かい声援で元気を奮い立たせてリタイヤを思いとどまり、一步一步足を運んで、何とかゴールまでたどり着くといった有様です。それでも走り切った後の達成感、満足感が、媚薬のように次のレース出場に向かわせるのです。

レースに備え週1〜2回は走っていますが、汗をかくのが爽快で、ストレス発散に欠かせないルーティンになっています。

NTTグループのCMでイチローの「確かな一歩の積み重ねでしか遠くには行けない」というのがありましたが、私も、これからの人生をマラソン同様、一步一步大切に刻んでいきたいと思っています。



共立建設(株)東北支店

総務部

赤間 清

最近、ゴルフをはじめました。「趣味」になるかどうかは、これからですけどネ!

こんにちは。共立建設の赤間です。電友会の賛助会員として少しだけ会社の紹介を致します。共立建設は昭和31年8月10日に、電気通信共済会様が主体となられ、日本電信電話公社(現日本電信電話(株))様の通信施設や役職員の方々の社宅等を建設するために設立されました。設立と同時に仙台出張所(現東北支店)が開設され、その後仙台支店となり、現在の東北支店へと至っております。お陰様を持ちまして本年度創立60周年を迎えます。これもひとえに電友会会員の皆様方や日本電信電話(株)の方々、そしてグループ会社の方々のご指導やご支援があったることと深く感謝申し上げます。

さて、ここからは私自身のことを書きたいと思います。私は仙台市の出身です。昭和53年に共立建設へ入社し、仙台支店に配属されました。これまで2回の本社(東京)勤務を経験し、現在に至っております。学生時代から写真を趣味とし、自宅に暗室を設けた程でした。入社後もモデル撮影会に参加したり、閉山間近の夕張炭鉱へ原付バイク(苦小牧まではフリーを利用)で撮影旅行をしたりしていました。その熱も本社への転勤を機に次第に冷めて行き、代わりへのめり込んだのがスキーでした。原田知世

主演の映画「私をスキーに連れてって」がヒットした時期でもあり、関東甲信越地方のお洒落(?)なスキー場で思いつきリシュプールを描いていました。中でも語り草になっているのが「24時間スキーツアー」です。会社の同僚と3人で朝の4時に車で東京を出発し、関越自動車道を通り越後湯沢へ向かったのですが、大渋滞に巻き込まれたため、スキー場に着いたのは午後3時でした。それから2時間程滑って午後5時にスキー場を出発しましたが、帰りも大渋滞で、東京に着いたのは翌日の朝4時でした。後にも先にもこれ程の強行軍はありませんでした。時は過ぎ、子供の部活に振り回されるようになるのとスキー場への足も遠退いていきました。その後は趣味らしい趣味を持つことがなかったのですが、最近仕事の関係でゴルフを始めることになりました。家族に疎まれながらも練習場に通い、ラウンドの日を迎えました。スコアは大叩きでしたが、天候と同伴競技者に恵まれ、楽しい1日を過ごすことができました。まだ「趣味」になるかどうか判りませんが、自然の中で適度な運動をすることにより健康を維持できるのであれば続けてみようかなと思います。



日本メックス(株)
東北支店
佐渡 正樹

「ビジョン50」の達成を目標に
全社一丸となって日々頑張っています!

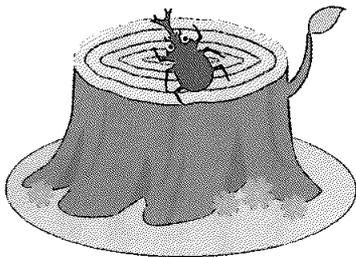
日本メックス(株)東北支店の佐渡です。私もNTTを退職し早9年目を迎えました。昭和49年に電電公社に入社し、1年間の研修を経て専門が「交換」に決定し、最初の赴任地が会津若松電報電話局の機械課です。2年後に東北通信局施設部機械課電力係で電力設備の設計業務を経験し、資材局(本社)、計画局(本社)、岩手電気通信部機械設計課、東北総支社設備サービス企画部(旧保全部)、ネットワーク事業本部、釜石支店設備計画担当、東北支社ネットワーク部、サービス生産本部ネットワーク部(本社)、NTTファシリテーズ(本社)、NTTファシリテーズ東北支店と職場及び引越しを経験しNTT退職後は、日本メックス(株)にお世話になっております。

日本メックスは1972年(昭和44年)日本総合メインテナンスと言う会社名でスタートしました。昭和40年代の電電公社は「全国自動即時化」と「積滞解消」を2大目標に掲げ、その目標を1979年(昭和54年)に達成しました。電話局をどんどん新設していた時代から保全の時代へと移り、更に改修工事増大への時代に突入しようという1992年(平成4年)、丁度会社設立20周年を迎えた日本総合メインテナンス

は「日本メックス」に会社名を変更し、平成28年度で第45期目となります。現在、日本メックスは「ビジョン50」を掲げその目標に向けて全社一丸となって取り組んでいます。「ビジョン50」とは10年後のあるべき姿として「日本一の『建物維持管理・保全工事』会社を目指す」をスローガンに、平成33年(第50期)の売上目標を平成24年度の1.5倍、一般市場比率を50%にすることを目標に取り組んでいます。

日本メックスは、これからもNTTグループに対してコスト低減、安全・品質面でも貢献し更なる発展に向けて努力して参りたいと考えております。

最後になりますが、東北電友会会員皆様方の益々のご健康とご発展を祈念致します。



東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎電友会幹部会議開催

28年2月18日、東京西新宿オペラシティビルにおいて開催。28年度事業計画の審議、各地域での取り組み紹介等が行われました。東北からは澤田岩手支部長から「東日本大震災を契機とした心の交流」として、大阪地域との産直の交流模様が紹介されました。

◎事務局長会議模様

28年2月19日、東京西新宿オペラシティビルにおいて開催。ボランティア活動物品支援や定期報告の見直し等について審議しました。

◎支部長・事務局長会議

28年3月3日、NTT五橋ビルで開催。28年度事業計画についての意見交換、本部幹部会議模様の報告等が行なわれました。

◎第1回地方理事会

28年4月28日、NTT五橋ビルで開催。各支部長（理事）出席のもと28年度地方評議員

会の議案審議、地方本部長表彰の推薦等を行いました。



第1回地方理事会模様

◎東北地方本部評議員会開催

28年5月19日、メトロポリタン仙台において開催。ご来賓にはNTT東日本取締役宮城事業部長柴田基靖様を始め東北各支店長ほか

幹部の皆様及び賛助会員の皆様をお迎えし、また、電友会本部からは八木橋五郎副会長にご出席をいただきました。会議では、27年度の事業報告並びに28年度の事業計画、役員の変更等について審議し全て原案通り可決承認されました。また熊本地震支援についても満場一致で決議し、地方本部はもとより各地区・支部でも出来る限りの支援活動を行なっていくこととしました。



小野寺地方本部長あいさつ



ご来賓のNTT 東日本取締役宮城事業部長 柴田基靖様



ご来賓の電友会本部副会長 八木橋五郎様



小野寺地方本部長と
地方本部長表彰受賞の方々



評議員会模様

会議終了後、地方本部長表彰（長期就任・ボランティア活動）を行いました。

◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高齢者叙勲

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

瑞宝双光章 青森 佐々木三郎様

宮城 角田 達彌様

宮城 坂下 定夫様

宮城 原田 茂三様

宮城 高山 寛志様

宮城 菅原 了二様

（平成27年10月～28年7月まで）



インターネットで
おいしいものをおとりよせ

お取り寄せタウン

全国の優れた逸品やこだわり商品を産直お取り寄せ

<http://itp.ne.jp/shopping/>

*タウンページの利用者が情報を閲覧するためのご利用は無料です。
*タウンページのご利用には、インターネット接続に係る回線・プロバイダー等の契約及び料金が別途必要です。

NTTタウンページ株式会社 東北営業本部 H28広表第173号 [161231]

ギフトに

ホーム
パーティーに

インターネット
通信販売初出店も
あります